

<<戦国軍記の研究>>

图书基本信息

书名：<<戦国軍記の研究>>

13位ISBN编号：9784757600072

10位ISBN编号：4757600070

出版时间：1999/11

出版时间：和泉書院

作者：笹川祥生

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

<<戦国軍記の研究>>

内容概要

第1章 戦国軍記序説 それはなぜ書かれたか(令名の記録
戦国軍記の形成と終焉)

第2章 戦国軍記執筆の視点(軍記のなかの地方

地方性の主張 『石見軍記』考

現実直視の姿勢 『中州軍記』考

批評精神 『朝倉始末記』考

若者への思い 『浅井物語』から『浅井三代記』へ

甫庵の嘆き 『信長記』執筆の意図)

第3章 戦国軍記から近世の軍書へ(近世の軍書と執筆の時期

『甲陽軍鑑』から『武田三代軍記』へ 先行作と継承作

『石田軍記』と『北条五代記』 贅辞の行間

『北条九代記』論 「今」を「昔」に包み込むこと)

[要旨]

本書は、多くの戦国の記録が、いかなる理由で、いかなる基盤から世の中に送り出されたか、ということについて考察する。

戦国軍記が、次第に変容して行く状況をまず考察。

ついで、これらの作品は、いかなる視点、あるいは立場から執筆されたか、という課題につき検討

。応仁の乱の始まった応仁元年（一四六七）から、元和元年までを扱う。

<<戦国軍記の研究>>

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>